

子育て世帯の経済的負担軽減に予算措置

区分	通院	入院
3歳未満	無料	無料
3歳～ 就学前	600円/月	500円/ 日 (月7日 上限)
小学生	1200円/月	
中学生	助成なし	

※本人負担額 (いずれも1医療機関ごと)

通院に係る医療費の助成を就学前から小学6年生までへ、入院に係る医療費の助成を小学6年生までから中学3年生までへ、それぞれ拡大されました。

子ども医療費助成対象年齢拡大 保育所等入所者の保育料階層細分化の実施

通院は3歳から就学前までの本人負担額が月600円、小学生の本人負担額が月1200円になります。入院は3歳から中学生まで1日当たり本人負担額500円(月7日を上限とする)となります。

□保育料の負担軽減措置

平成28年度4月から市の施策として住民税額に応じた設定している保育料の階層を現行の8階層から13階層に細分化することで階層間の差額を小さく設定され利用者の負担額が一部軽減される取り組みが行われます。今回の当初予算は子育て世帯の経済的負担軽減につながる予算措置だといえます。

□その他の事業

(仮称)大野城心のふるさと館の建設工事及び展示実施設計・制作設置事業に9億283万円。(仮称)大野城市にぎわいづくり協議会の設立及び事業を実施する補助金2175万1千円。留守家庭児童保育所の入所対象者を小学1年生から6年生までに拡大する運営事業に1億6684万8千円。介護予防事業等に参加した場合に換金可能なポイントを付与し換金上限に応じて支給する介護予防ボランティア事業に294万4千円。中学校ランチ給食サービスの保護者負担額を1食300円から250円に引き下げ、利用を就学援助の対象とする事業に2081万5千円。小中学生通級指導教室を設置する事業1139万6千円などがあります。当初予算については①すべての市立保育所への防犯カメラの早期設置②無蓋側溝の蓋かけの早期実現を予算委員会で付帯決議報告がなされました。

大野城市議会議員



第21号
2016年4月発行

<松田みゆき事務所>
〒816-0983 大野城市
月の浦 5-11-15
TEL : 092-577-0884
FAX : 092-577-0884
メール : miyuki_tukinoura@yahoo.co.jp

【裏面もあります!】
■議員研修会実施!
■子ども食堂視察
■南地区総合避難訓練

保護者負担額を
250円に値下げ!



松田みゆきの活動を発信しています!

松田みゆき で 検索

ブログ(政治活動日記)
公式ホームページ

http://blog.livedoor.jp/miyuki_tukinoura/
<http://miyukimatsuda.web.fc.com/>
<http://www.facebook.com/miyuki.matuda.7>
アカウント→ @MiyukiMatuda

facebook
Twitter

裏面につづきます

議員研修実施！議会ICT化について

大野城市議会基本条例に基づき、3月17日大野城市議会全員協議室にて(株)富士通総研公共事業部シニアコンサルタントの若生幸也氏を講師に迎え議会ICT化についての研修会を議員全員で実施しました。先進地方議会での実践例として①議会内無線通信を利用してデータの送受信を行うLANシステムとデータ共有のフォルダ構築②議場内にタブレットパソコン等を持ち込み、資料を投影することや議会資料の電子配布③議会基本データ、委員会関連データ、各種統計調査データ、市民からの意見などを加工可能な状態で掲載することなどが挙げられました。実際にタブレットを使用し、電子資料の閲覧方法など体験しました。今後住民との接点機能の拡充と議会内部の効率化についてICTをどう活用すべきか検討していきます。



子ども食堂視察



現在、日本の子どもの貧困は6人に1人と言われていますが、福岡県では5人に1人の子どもが貧困状態にあると報道されました。福岡県の子どもの貧困問題の対策は、幼い頃からの生活や学習習慣を習得する機会を提供することが重要であると思われまます。昨年12月25日に那珂川町松木公民館でなかがわ子ども食堂が開設されました。その後も大野城市で1月17日におおのじょうこども食堂、2月7日に下大利こども食堂が開設されました。困窮家庭に限定せず、多くの子どもたちが集えることが特徴です。今後市内公民館での開設に向けて動き出されています。私が所属しています会派改革フォーラムによる代表質問(関岡議員)では、子ども食堂の支援について質問されました。市長は継続可能な事業となるよう支援策を検討すると答弁されました。

南地区総合避難訓練

3月13日南地区で地震災害を想定した各公民館やコミュニティセンターへの避難訓練が行われました。各家庭が避難訓練に参加する方法の一つに、逃げタオルをポストやドアノブ等にかけることがあげられます。事前に回覧板等でお知らせが回覧されていても知らない方も多く、どう浸透させていくかが課題です。月の浦区では災害食の試食や応急処置の講座、防災品の展示、炊き出し訓練等が行われていました。東日本大震災から5年経ちました。自主防災組織の大切さを避難訓練を通して再確認することができました。



～松田みゆきプロフィール～

1976年5月30日春日市生まれ
 1995年 福岡県立春日高等学校卒業
 1998年 中村学園短期大学
 食物栄養科 卒業2011年 大野城市議会議員 初当選
 福祉文教委員会(～13年)
 住居表示審議会(～13年)

2013年 都市環境委員会(～2015年)
 広報委員会(～2015年)
 2015年 大野城市議会議員2期目当選
 総務企画委員会副委員長
 予算委員会委員
 土地開発公社理事

